

第6次中期計画・営農振興計画

平成28年度～30年度

平成28年度 取組実践状況報告について



▲農業支援講座(ねぎ播種作業)



▲青年部食農教育(じゃがいも収穫体験)



▲JAバンクPRイベント



▲女性協文化展



JA 前橋市

群馬県前橋市富田町2400番地の1 TEL 027-261-3000

目次

Contents

● 中期計画の概要	2
● 第6次中期計画・営農振興計画の取組実践状況報告	3
1. 農業	4
2. 組合員・地域利用者	11
3. 経営	12
● 1支所1地域協同活動報告	13

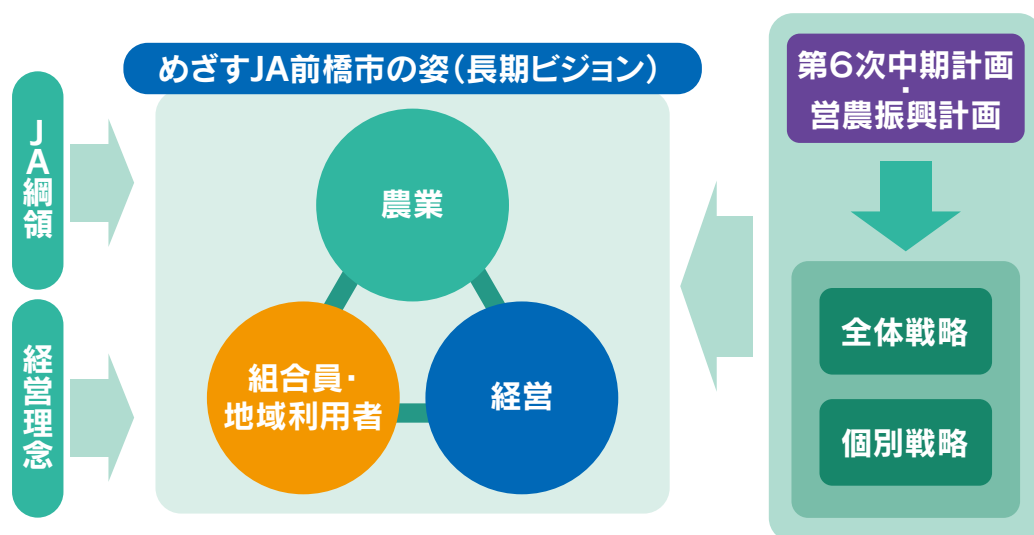
ぼくも一緒に
報告します！



JA 前橋市イメージ
キャラクター
じゃじゃゴン

中期計画の概要～中期計画の体系～

Introduction



中期計画は、めざすJA前橋市の姿の実現に向け、経営課題に取り組むために、3か年（平成28年度～30年度）を期間とした計画です。

徹底したスケジュールと進捗管理により、掲げた3か年の数値目標の達成、さらにはめざすJA前橋市の姿の実現に向け、役職員一丸となって取り組んでいます。

中期計画の概要～中期計画の戦略構造～

Introduction

■ 農業

全体戦略	農業者の所得増大に向けた取り組み	農業生産拡大に向けた取り組み	地域の活性化に向けた取り組み	営農・経済事業改革の実践
個別戦略	①農畜産物の生産振興 ②販売機能の強化 ③地産地消の強化 ④農業経営管理の支援 ⑤経営コスト低減への取り組み	①担い手経営体の育成支援 ②農地の有効活用への取り組み ③担い手の労働力軽減への支援 ④営農支援体制の機能強化 ⑤農畜産物の生産拡大支援	①組合員組織の活性化 ②食農教育の拡大	①営農エリア化構想 ②共同乾燥調製施設の再編

■ 組合員・地域利用者

全体戦略	総合事業を活かした部門間の情報共有と発信による利用者へのアプローチ
個別戦略	①ローンセンターの新設（共済相談機能併設） ②企業・取引業者・系統関連団体への推進体制の確立 ③重層訪問活動による顧客満足度（CS）の向上 ④相続相談対応部署の設置

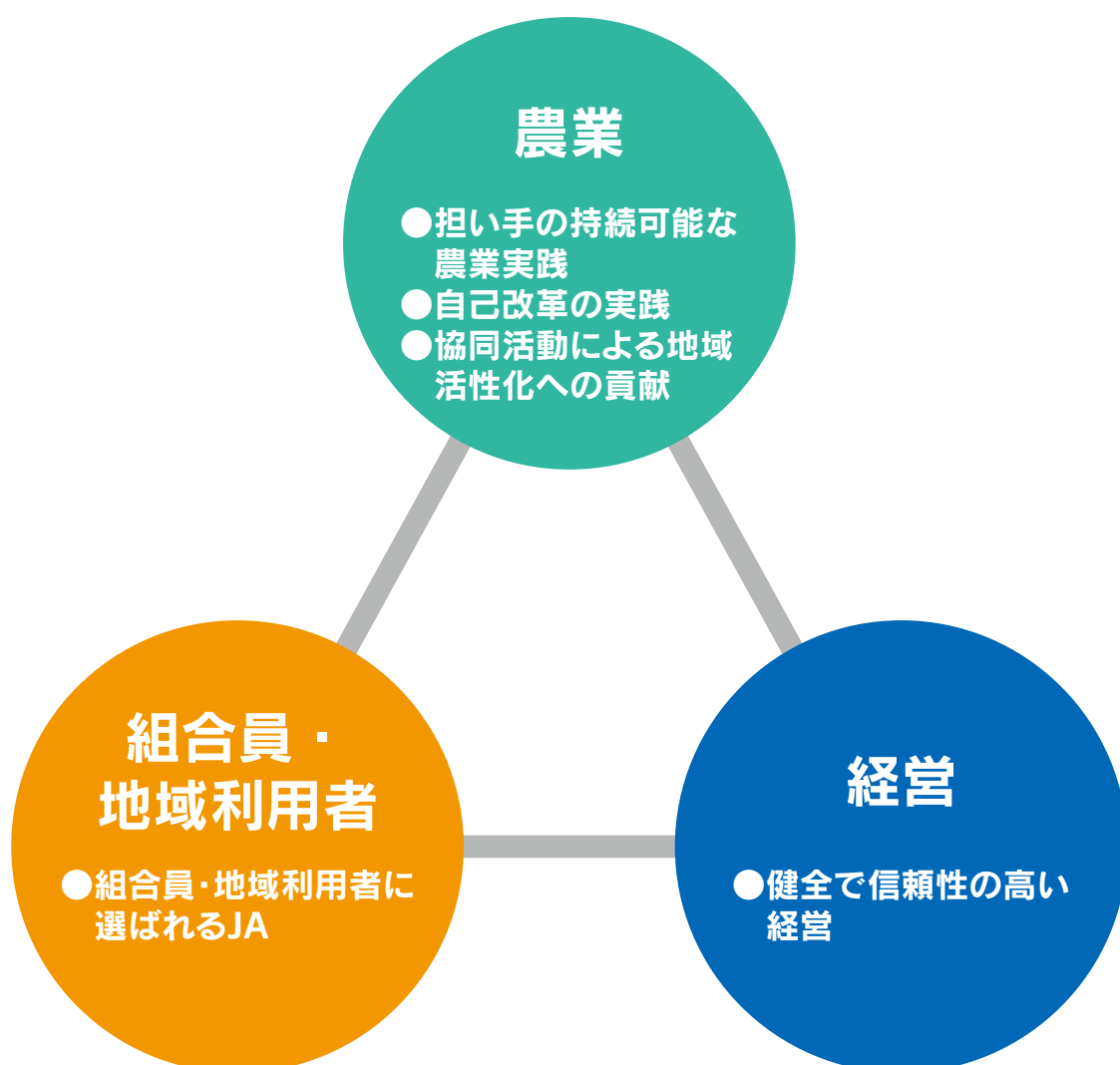
■ 経営

全体戦略	事業体制の見直しと確立による事業収益基盤の拡大と深耕
個別戦略	①支所機能等の見直しと営業力強化による収益拡大 ②収益構造の抜本的な見直しによる収益基盤の拡充 ③長期ビジョンの実現に向けた司令塔機能の強化 ④職員資質を高める事による活力ある職場環境づくりと利用者満足度の向上

中期計画を通して自己改革に取り組んでいます！



めざす
JA前橋市の姿
(長期ビジョン)



個別戦略①

農畜産物の生産振興

- 米穀では、飼料用米作付面積拡大を図るため、北部エリアを中心とした栽培推進を行いました。
また、多収性品種「月の光」の栽培試験を行い、今後の飼料用専用品種として導入の検討も行いました。
- 園芸では、JA前橋市新規就農者・野菜生産拡大支援事業枠の拡大及び野菜重点8品目生産規模拡大・新規導入支援事業を新設し、野菜重点8品目の栽培推進及び栽培講習会・現地講習会等を開催し、栽培技術向上支援を実施した結果、42.6haの生産拡大が図れました。
【生産拡大面積：ホウレンソウ5ha・ナス1.7ha・ネギ9.6ha・ブロッコリー18.0ha・ニガウリ0.9ha・ズッキーニ7.4ha】
- 畜産では、専門職員立会いによる素畜購買により、農家の希望に沿った供給に取り組んでいます。この取り組みにより、素畜購買農家の所得向上が図れました。



▲ 北部エリアにおける
露地ナス現地栽培講習会



▲ ズッキーニ栽培講習会



▲ ホクレン十勝家畜市場

個別戦略②

販売機能の強化

- 販売専門担当者2名を配置し、市況・分荷担当による市場動向の確認や実需者ニーズに即した農産物の分荷による販売高向上に取り組んでいます。
- 前橋産農産物フェアを市内外の量販店及び市場で年間12回（120%／前年比）の開催や組合長、前橋市長によるトップセールスを展開し、実需者及び消費者へ「安全・安心」な前橋産農産物PRを行っています。



東京の市場など、
日本各地で前橋産農畜産
物のPR活動を行っています。



▲ 横浜丸中青果株の
トップセールス



◀ 国産農畜産物商談会にて
前橋産農畜産物のPR

- まえばし畜産物ブランド推進協議会・作業部会にて、専門家による協議を重ね、平成29年度中のブランド化確立に向けた取り組みを進めています。
- まえばし産畜産物フェアを新規取扱店舗で開催しました。（焼肉松姫・焼肉あぐり朝日庵）
- まえばし産牛肉・豚肉を使用した弁当の開発・販売をしました。平成29年1月よりJAファーマーズ朝日町店にて販売を開始し、好評を得ています。



ぼくもこのお弁当を食べて
みました。お肉とタレが
よくマッチしていてとても
おいしかったです。皆さん
もぜひご賞味ください！



JA 前橋市イメージ
キャラクター
じゃじゃゴン

個別戦略③

地産地消の強化

- 産直ゆうあい館での定期的なイベントの他、子ども向けイベントや野菜ソムリエによる料理実演会を行いました。特に料理講習会では、前橋産の野菜をふんだんに使用した群馬の郷土料理「おきりこみ」が大好評でした。また、産直部会と連携した「朝市」「トラック市」では生産者が新鮮野菜を来場者に直接販売することで、地産地消の大きなPRの場になりました。
【販売高105.7%・集客率101.4%（前年比）】



▲ 野菜ソムリエによる料理実演会

個別戦略④

農業経営管理の支援

- web簿記システムの利用推進による農業経営支援システムを活用した生産販売診断表によるモデル地区実績検討会を開き、行政・関係機関との連携により栽培指導及び経営指導を実施しました。



農業経営支援システム研修会 ▶



個別戦略⑤

経営コスト低減への取り組み

- 量販店の肥料・農薬等の価格調査結果を踏まえた取引業者との交渉を実施し、6品目の組合員供給価格が、大量仕入れにより2～5%低減が図れました。また、集落営農法人等・担い手の直送利用推進の実施や土壌分析結果に基づく過剰施肥防止及び省力型農業の推進により農家経営コスト低減が図れました。

個別戦略①

担い手経営体の育成支援

- J A前橋市農業支援講座（全6講義）を受講生28名の参加により開講し、新規就農者・定年帰農者等への栽培技術支援に取り組んでいます。また、施設キュウリの栽培経験の浅い生産者を対象とした基礎技術研修会では、栽培技術向上支援の他、参加者同士の情報交換の場として、生産者の交流が図れました。
- 行政との連携では、新規就農者支援プロジェクト会議を年4回開催し、情報共有及び支援計画等についての協議や新規就農者調査を行い、21名が新規就農者認定となりました。また、新規就農者現地巡回指導及び新規就農者青年給付金受給継続の面接、栽培体系・経営改善指導等を行いました。
- 農政関係補助事業の希望調査の実施及び調整会議を開催し、52経営体が平成29年度に補助事業実施となり、うち、8経営体が28年度補正予算で前倒し事業実施となったため、各支所において補助事業手続き指導を行いました。

施設キュウリ基礎研修会 ▶



個別戦略②

農地の有効活用への取り組み

- 農地利用集積の促進では、農地中間管理機構事業移行説明会や人・農地プラン地区別座談会を開き、行政・農業委員と連携により6月利用権設定33件520筆・90.54ha、11月利用権設定20件696筆・115.3haの農地利用集積となりました。
- 耕作放棄地等の利用促進では、支所別遊休農地対策検討会を開き、貸手情報の共有によるマッチングを行い、耕作放棄地・遊休農地71筆、11.25haが解消されました。

個別戦略③

担い手の労働力軽減への支援

- 共同施設の利用推進では、共乾施設再編プロジェクト会議にて、各施設の利用状況調査を行い、利用エリア（近隣施設搬入等）の見直しを実施しました。
- 共同機械野菜選果施設設立では、生産者説明会の開催やアンケート調査結果を基に建設準備委員会を設立し、共同機械野菜選果施設の運営・部会設立等について協議・検討を行い、国庫補助事業申請に向けた必要書類作成・整備に取り組みました。担い手の労働力軽減への支援を目指し、平成30年2月の稼働に向け、施設の建設を進めます。

個別戦略④

営農支援体制の機能強化

- 野菜重点8品目を中心とした栽培講習会・現地講習及び肥料・農薬研修会や関係機関主催の研修会等へ積極的に参加し、専任営農指導員の知識向上による多様化する組合員への対応力強化や営農渉外担当者を各支所に13名配置し、定期巡回先を明確化し担い手ニーズに合った情報提供等を実施しました。
- JA全国専門畜産経営診断士及び全国お肉検定（お肉博士）取得のための講習会へ参加しました。
- 飼料専門推進員による農家への定期的巡回を行っています。



営農指導員による、経営に関するアドバイスや情報提供等を行っています！

認定証 ▶



個別戦略⑤

農畜産物の生産拡大支援

- 麦類では一毛作地区を中心に飼料用麦の栽培推進を行い、栽培面積拡大及び新規栽培者の増加により1.8haの栽培面積拡大が図れました。
- 園芸作物では野菜振興プロジェクト会議を年4回開催し、支所毎の野菜重点8品目の栽培状況及びJA前橋市新規導入事業等の周知による出荷量増加に向けた栽培推進を強化しました。
- 養蚕では繭増産運動により春蚕14.5箱、晩秋蚕19箱、合計33.5箱を増産し、蚕糸業継承対策事業増産支援金交付による農家所得の増大を図りました。
- 補助事業活用による優良素畜導入、生産支援をしました。



▲ 上州ネギ現地栽培講習会



▲ 蚕繭出荷

個別戦略①

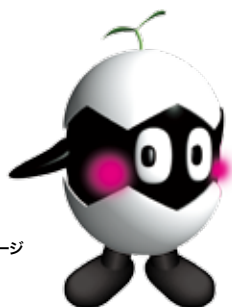
組合員組織の活性化

- 女性組織の活動支援では、JA前橋市女性大学第1期生23名の入学により女性大学を開校し、手芸講習会を始めとした各種講習会を通じた女性部活動・JA事業への理解促進活動等により、女性組織の活性化が図れました。平成29年度も女性組織の「仲間づくり」に取り組みます。
- 青年部組織の活動支援では、青年部による前橋産農畜産物の販売促進を2回開催しました。青年部員が丹精こめ育てた農畜産物を自ら対面販売し、消費者へ「安全・安心」な前橋産農畜産物のPRに取り組みました。
また、婚活イベントとして開催した第3回・第4回のJA JAコン in まえばしでは、多くの一般女性が参加し5組のカップルが誕生しました。



◀ 女性大学開校

▼ 銀座ぐんまちゃん家にて青年部による前橋産農畜産物をPR



JA 前橋市イメージ
キャラクター
じゃじゃゴン

女性大学は平成 28 年度より始めました。手芸講習会以外にも料理教室など、女性が楽しめそうなカリキュラムになっていますので、女性大学にあなたも入りませんか？

個別戦略②

食農教育の拡大

- 食農教育ニーズ調査を実施し、新たに2保育園の園児を対象とした食農教育の拡大や新規導入作物「かぶ」の播種及び収穫体験を行いました。収穫体験では、「かぶがたくさん収穫できて楽しい」と園児から収穫を喜ぶ声があがり、食農教育を通じて「食」と「農」の大切さを、次代を担う子ども達に伝えました。



▲ 園児によるかぶの収穫体験

この農業体験を通して、
一人でも多く農業に関心
をもってもらえたら、
JAは嬉しい限りです。



園児の餅つき体験
(青年部と女性協の協同活動) ▶



4 農業 ～全体戦略～ 営農・経済事業改革の実践

Introduction

個別戦略①

営農エリア化構想

- 営農エリア担当者3名を配置し、出向く営農支援体制の構築や営農エリア毎の栽培推進品目の選定による生産振興を行いました。
- モデルエリアとして北部営農エリアで栽培講習会・出荷目揃会を開催し関係者含め約100名の参加により栽培技術の平準化や支所間の生産者交流を図りました。
- 平成29年4月より各営農エリアにエリア長を設置し、支所の垣根を越えた地域営農戦略を進めます。

個別戦略②

共同乾燥調製施設の再編

- 各施設の利用状況調査を行い搬入エリアの見直しや再編統廃合について協議・検討を行いました。平成29年度から支所を跨いだ近隣施設への麦の搬入を実施いたします。また、米についても田植え時期の調査を行い近隣施設への搬入を検討いたします。

個別戦略①

ローンセンターの新設（共済相談機能併設）

- 「ローンセンタープロジェクト」の戦略に基づき、前橋市内の大規模商業施設「けやきウォーク」にてJAバンクPRイベントを開催しました。この取り組みは、将来にわたった事業基盤の維持を目的とし、JAと取引の少ない20～40代の次世代層に対してJA前橋市の事業内容を周知定着させ、新規利用・取引拡大を実現させていくことを目的としています。



若い人たちにも、JAを
もっと身近に感じて
もらえるように、これから
いろいろな所で
JAを宣伝していきます！

◀ JAバンクPRイベント



個別戦略②

重層訪問活動による顧客満足度（CS）の向上

- JA前橋市管内の共済契約者を対象にベイシア文化ホール（県民会館）において「JA前橋市共済契約者の集い」五木ひろしコンサートを開催し、約2,300名が参加しました。今回は、対象者を新規契約者だけではなく、大口保有契約世帯に拡充し、顧客満足度（CS）の向上を図りました。



▲ 共済契約者の集い

個別戦略①

支所機能等の見直しと営業力強化による収益拡大

- コンサル導入による支所機能等の見直し・検討を含めた営業体制の再構築を開始しました。
- コンサルによる組合員意識調査（アンケート）を行い、組合員のJAへの満足度と期待を明らかにしました。下記に結果を掲載しています。
- コンサルによる職員の業務量調査を行い、業務量にもとづき必要となる職員の「質」と「量」を明らかにしました。
- 現状の支所の課題の発見、解決を目的に、総合企画課の支所巡回を開始しました。

～組合員意識調査（アンケート）結果～

■ 属性別回収結果

属性		調査票 発送件数	回収 件数	回収率
組合員区分	年齢層			
正組合員	高齢層	3,273	1,016	31.0%
	若中年層	2,136	428	20.0%
准組合員	高齢層	2,900	557	19.2%
	若中年層	2,972	285	9.6%
全体		11,281	2,286	20.3%

※高齢層は60歳以上、若中年層は60歳未満としています。

■ 調査結果

組合員がJAに抱く関心事の中で、全事業で共通した項目は「**対応力**」でした。

この対応力とは、職員の組合員への対応のことで、例えば、相談を受けた際の素早い回答、職員からの役立つ情報の提供等が挙げられます。

■ 今後JAに期待すること

	正組合員	准組合員
高齢層	職員の専門知識	金利
若中年層	遊休農地の利用	金利

皆さまからいただいた声をJA運営に反映していきたいと思います。



JA 前橋市イメージ
キャラクター
じゃじゃゴン



1 支所 1 地域協同活動報告

Cooperative action

ＪＡ前橋市は組合員や地域住民との共生を図るために、「1支所1地域協同活動」に取り組んでいます。この活動を通じて、明るい地域づくりに貢献しています。

平成28年度に各支所で取り組んだ「1支所1地域協同活動」をご報告します。



▲ 宮城納涼祭



▲ 南橘支所秋野菜産直まつり

支所	実施日	活動類型	活動内容	対象者・参加者
木瀬支所	11月5日	イベント型	永明地区文化祭参加	地域住民
荒砥支所	12月21日	イベント型	新米試食会（ゆめまつり）の開催	地域住民
前橋支所	毎月	地域貢献型	地域美化（管内公園3カ所の清掃活動）	地域住民
前橋支所	毎月	地域貢献型	運動防犯パトロール	地域住民
前橋支所	7月30日	イベント型	天川原町一丁目自治会夏祭りに参加	地域住民
上川渚支所	6月2日 7月2日 10月28日	地域貢献型 組合員活動型	管内園児・小学生への食農教育（定植から稲刈りまで）	組合員 園児・小学生
上川渚支所 南部支所	11月23日 11月27日	イベント型	日典ラサ前橋主催特別イベント「こころのつどい」とＪＡアシストホール前橋主催の人形供養祭に参加	地域住民
南部支所	5月7日	地域貢献型	早朝クリーンアップ運動への参加	地域住民
南橘支所	7月23日 11月19日	地域貢献型 組合員活動型	地産地消「産直まつり」の開催	組合員
南橘支所	2月7日	地域貢献型	青少年と未来をつなぐ教室「地域の職業人」への協力	中学生
芳賀支所	5月14日 8月21日	地域貢献型	芳賀公園清掃作業	地域住民
芳賀支所	11月5日	イベント型	芳賀ふるさと祭りへの参加	地域住民
桂萱支所	4月29日	地域貢献型	上泉町内一斉清掃の参加と桃の木川サイクリングロードの清掃及び花壇の花苗提供	地域住民
東支所	11月13日	イベント型 組合員活動型	東公民館文化祭に女性部員とともに参加	女性部 地域住民
東支所	12月4日	地域貢献型	滝川公園の美化活動	地域住民

支所	実施日	活動類型	活動内容	対象者・参加者
元総社支所	2月24日	地域貢献型	明神東公園の美化活動	地域住民
総社支所	5月29日	イベント型	「前橋の子どもを明るく育てる活動」に参加	地域住民
総社支所	10月8日	地域貢献型	「まえばしまつり」大人みこしに参加	地域住民
清里支所	6月19日 6月26日 7月3日	組合員活動型 地域貢献型	駒寄パーキングにて清里地区で生産された野菜の産直販売	地域住民
富士見支所	5月20日 7月15日 9月16日 11月18日	地域貢献型	地域3交差点（小暮・小沢・田島）美化活動	地域住民
富士見支所	6月4日	イベント型	コープぐんま主催「おづくり体験（田植え・いも掘り）」への参加	地域住民
富士見支所	6月11日 10月22日	イベント型 地域貢献型	FANクラブ主催「親子農業体験さつまいも苗植え」への参加	FANクラブ 地域住民
富士見支所	10月2日	イベント型	「こまばのまつり」への参加	地域住民
富士見支所	11月2日 11月3日	イベント型	富士見産業祭（フェスティバル in FUJIMI）への参加	地域住民
大胡支所	6月17・20・ 23・29日 10月14・18日 11月1日	組合員活動型 地域貢献型	大胡管内の小学校に食農教育の一環として田植え・稲刈り体験	組合員 小学生
大胡支所	12月17日	地域貢献型	地域美化（上毛電鉄大胡駅前の公園を中心とした清掃活動）	地域住民
宮城支所	4月15日 6月17日 9月16日	地域貢献型	地域美化（各事業所周辺の市道・県道等の清掃活動）	地域住民
宮城支所	8月7日	イベント型 地域貢献型	宮城地区納涼祭の出店及び参加	地域住民
宮城支所	6月14日 10月24日	組合員活動型 地域貢献型	宮城小学校農業体験（田植え・稲刈り）	青年部員 小学生
粕川支所	5月29日 7月31日 9月25日	地域貢献型	地域美化（粕川河川の除草・清掃活動）	地域住民
粕川支所	8月7日	イベント型	粕川まつりに参加	地域住民
粕川支所	11月6日	イベント型	粕川町産業文化祭に参加	地域住民
JAビル支所	7月15日	イベント型	開所5周年お客様感謝デーの実施	JAビル利用者
JAビル支所	7月20日	地域貢献型	地域美化（JAビル敷地内の美化活動）	JAビル利用者
JAビル支所	12月14日	イベント型	冬季「お客様感謝デー」の実施	JAビル利用者
西部営農センター	12月9日 ～11日	イベント型	日典ラサ敷島での葬祭事業業務提携のPRと前橋産農産物の直売による地域住民とのふれあい	地域住民



〔JA前橋市キャッチコピー〕

笑顔と信頼 広げよう「ありがとう」の気持ち



JAグループは今、「みんなのよい食プロジェクト」を推進中。

「みんなのよい食プロジェクト」とは、安全で品質の高い農畜産物の生産や地産地消、食農教育など、いろいろな事業を通して生産者と消費者の絆を深める取り組みです。



耕そう、大地と地域の未来。